

ウイルス
あっちいけ!



新型コロナウイルスワクチンについて

日本でも新型コロナウイルスワクチンの接種が医療従事者、高齢者から順次進み始めました。ママ世代への接種はこれからですが、ワクチンに対する期待とともに不安の声も聞こえてきます。そこで新型コロナウイルスワクチンについて皆さんの疑問点をQ&A方式でお伝えします。

◆ワクチンの効果

☆ワクチン接種を受ければコロナうつったり他人にうつしたりすることはないの？

ワクチン接種は発症予防の大きな手段であることは間違いありませんが、他の方に感染させない効果があるかどうかは十分に分かっていません。発症予防に関しても、100%発症を防げるわけではなく、一回のみの接種や2回目の接種後でも6日以内では予防効果が低くなっています。そのため、地域での感染が終息するまではマスク着用、手洗い、3密をさけることが大切です。

◆ワクチンの安全性と副反応

☆ワクチン接種で新型コロナウイルスに感染しないの？

現在使用されているmRNAワクチンでは、ウイルスを弱毒化した生ワクチンと違って、原理的に身体の中で新型コロナウイルス全体が作られたり、新型コロナウイルスに感染することはありません。



☆副反応は1回目の接種後より2回目の接種後の方が強く出る人が多いのはどうしてですか？

1回目のワクチン接種でいくらか免疫がつくことで、2回目の接種の方が免疫反応が起こりやすくなるため、発熱や倦怠感、関節痛などの症状が出やすくなります。

☆ワクチンを受けた後に熱が出たら、どうすれば良いの？

ワクチンによる発熱は接種後1~2日以内に起こることが多く、必要な場合は解熱鎮痛薬を服用するなどして、様子を見ていただくことになります。このほか、ワクチン接種後に比較的起きやすい症状としては、頭痛、疲労、筋肉痛、悪寒(寒気)、関節痛などがあります。

◆私は接種できますか？

☆過去に蜂に刺されたことがあるけどワクチンを接種することはできますか？

蜂刺されによるアレルギーのある方でも、ワクチンを接種することが出来ます。但し、アナフィラキシーなど重いアレルギー症状が起きたことがある方は通常より長く(30分程度)接種会場で待機することとなります。

☆ワクチンは子供にも接種できるの？

予防接種法に基づく公費での接種の対象は、接種の日に満12歳以上の方です。このため、12歳に満たない方は、ワクチン接種の対象になりません。接種の対象者は、現時点での科学的知見に基づいて決められており、今後、接種の対象年齢が広がる可能性があります。また、各社のワクチン製剤の違いによって対象年齢は異なります。

☆授乳中でもコロナワクチンは接種できるの？

授乳中の方もコロナワクチンの接種を受けることができます。現時点では特段の懸念が認められているわけではなく、海外でも接種の対象とされています。

母乳中への移行については現時点では調べられていませんが、国際母乳育児医学学会の資料によれば、成分の性質から母乳移行量は非常に少ないと考えられています。たとえワクチン成分が含まれた母乳を赤ちゃんが飲んだとしても消化されてしまい、生物学的な影響を与えることはないと考えられています。他のウイルスのワクチンでは接種後1週間以内に抗体が母乳に見いだされます。今後の調査結果が待たれますが、こうしたことから母乳中に移行した抗体は赤ちゃんを新型コロナ感染から守るかもしれません。

参考資料:「新型コロナウイルスQ&A」厚生労働省、「妊婦・授乳中の新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種について」国立成育医療研究センターホームページ、「授乳中のCOVID-19ワクチン接種に関して配慮すべき点について」Academy of Breastfeeding Medicine(ABM)

薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、薬の相談テレホンまで ☎059-228-1113(平日9:30~16:30)

協力/ 三重県薬剤師会 〒514-0002 津市島崎町312-1 <http://www.mieyaku.or.jp/> 三重県薬剤師会 検索